

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-378-0480

年度	令和5年度
施設名	新潟市文化財センター 他 1施設
所管部・課	文化スポーツ部歴史文化課
施設の設置目的	埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、及びこれらの活用を図ることにより、これらに対する市民の関心及び理解を深め、もって市民文化の向上に資するため、新潟市文化財センターを設置する。 日本海側で最大級の規模を誇る円墳である古津八幡山古墳を有し、及び文化財保護法により史跡に指定された古津八幡山遺跡に対する歴史遺産としての理解を深めるとともに、社会教育及び文化の向上に資するため、新潟市古津八幡山歴史の広場を設置する（歴史の広場に弥生の丘展示館を置く）。

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	R5.7.25
歳入	15,502 正職員 12(1)	修正日	
歳出	60,837 会計年度任用職員 29	評価日	R6.7.17

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標					R5結果
1	市民	文化財センター入館者・各種イベント参加者数の増加	文化財センター入館者数(人)	5,691	7,469	6,666	8,000	5,646	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるように努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展(年2回)及び関連講演会の開催</li> <li>各種講座の実施</li> <li>遺跡発掘調査現地説明会の開催</li> <li>遺跡発掘調査速報会の開催</li> <li>出前講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数については、新型コロナウイルスが感染症法上の5類移行により、人の活動も活発となり範囲も拡大したものの入館者の増加には至りませんでした。</li> <li>現地説明会では、住宅地近辺の遺跡もあり周辺住民等から多数の参加をいただいたほか、速報会においてもオンラインを含め多くの方から参加いただきました。</li> <li>各種出前講座では、小学校への出前講座が好評で、講座実施後の週末には家族で来館するなど入館者増につながりました。</li> </ul>	C:未達成
			遺跡発掘調査現地説明会参加者数(人)	859 (4遺跡)	322 (2遺跡)	256 (3遺跡)	200 (2遺跡)	331 (2遺跡)				
			遺跡発掘調査速報会参加者数(人)	205 来場者:127 オンライン:78	175 来場者:97 オンライン:78	165 来場者:95 オンライン:70	160	131 来場者:93 オンライン:38				
			各種出前講座参加者数(人)	1,563	931	1,028	1,000	1,382				
2	市民	史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者・各種イベント参加者数の増加	史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者数(人)	29,087	26,682	27,872	30,000	17,333	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展(年2回)及び関連講演会の開催</li> <li>各種募集イベントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記と同様、入館者の増加には至りませんでした。近隣施設と連携したイベントもあり、各種募集イベントの参加者は目標を上回りました。</li> </ul>	C:未達成
			各種募集イベント参加者数	-	-	-	200	651				
3	業務	発掘調査業務における、設計・契約業務の適正実施	内部統制運用上の不備報告件数(件)	-	-	-	0	0	本市の貴重な文化資産である史跡や遺跡を適切に保存・活用するため、発掘調査における正確な設計と公平・公正な入札を実施し、市民に信頼される市政の推進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡古津八幡山遺跡確認調査事業</li> <li>埋蔵文化財本格発掘調査事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックリストの作成や複数人での確認を実施することで、内部統制運用上の不備報告は0件でした。</li> </ul>	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>文化財センターは、国史跡古津八幡山遺跡・弥生の丘展示館と共に、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、活用を図ることにより、文化財に対して市民の関心・理解を深めてもらえるよう、広く市民に文化財に関する情報を発信していきます。</p> <p>文化財センターでは、埋蔵文化財等に関する調査・研究を行い、成果をご覧いただけるよう2回の企画展を開催します。同時に、市民ボランティアとの協力・連携を図り、展示解説など市民からの要望に対応できる施設運営を目指すとともに、学校や公民館への出前講座や市政さわやかトーク宅配便の利用促進に取り組みます。</p> <p>弥生の丘展示館では国史跡古津八幡山遺跡の理解を深めるための調査研究を行うとともに、2回の企画展をはじめ各種イベントを開催し、国史跡の認知度を高めるように努めます。</p> <p>また、埋蔵文化財の確認調査及び発掘調査において正確な設計と公平・公正な入札を実施します。</p>	<p>令和5年度は、目標とした遺跡の発掘調査や調査研究、考古資料の収蔵保存、また、新潟市文化財センター及び古津八幡山遺跡歴史の広場における文化財等の活用事業について、ほぼ計画通り実施し、市民のみならず文化財に対し関心・理解を深めていただくことができました。</p> <p>新型コロナウイルスが感染症5類移行により、人の活動も活発となり範囲も拡大したものの、入館者数の増加には至らず、一部の項目で目標値を下回ってしまいました。</p> <p>新潟市文化財センターでは、今後とも市内における貴重な遺跡の発掘調査、研究を確実に行うとともに、その成果を活用し市民のみならず文化財に対して広く関心・理解を深めてもらえるように、わかりやすく情報を発信していきます。</p> <p>古津八幡山遺跡歴史の広場では、今後とも史跡を適切に保存していくとともに、市民のみならずから学習や憩いの場として利活用頂くために、広場の維持・管理を図っていきます。</p>